

公益財団法人 太田サンシャイン 御中

この度は、奨学生として2年間にわたりご支援を賜り、誠にありがとうございました。

おかげさまで、教員免許状の取得に向けて順調に学を進めることができ、残すは今年度の教育実習をもって修了という段階にまで至ることができました。奨学金によるご支援がなければ、生活のためのアルバイトに多くの時間を割かざるを得ず、ここまで学業に専念することは難しくなっていたと感じております。

また、学業と並行してボランティアサークルの活動にも力を注ぎ、副代表を務める貴重な経験を得ることができました。このような活動にも積極的に取り組むことができたのは、時間的・精神的な余裕を支えていただいたおかげであり、心より感謝申し上げます。

さらに、本奨学金に応募し採用していただいた経験は、私にとって大きな転機となりました。

それまで自分に自信が持てず挑戦をためらうこともありましたが、この経験を通して自分の可能性を

信じ、行動することの大切さを学びました。現在では、困難に感じることにも前向きに取り組む姿勢が身についていると実感しております。

加えて、記念品としていただいたボールペンも大切に使用しております。日々の学びの中で活用しながら、これまでいただいたご支援を思い出し、励みとしてまいります。

大学生活最後の1年となる今年度は、これまでの学びをより一層深めるとともに、多様な経験も積み重ねていきたいと考えております。教育実習をはじめとした実践的な学びに真摯に向き合いながら、自身の将来についてもさらに視野を広げていきたいと思っております。

これまで教育に関わる学びを重ねる中で、私は「教育」という枠にとどまらず、人のよりよい生活を支えること、そして同じ志を持つ人々と支援の在り方を考え続ける過程にやりがいを感じるようになりしました。そのような気づきを踏まえ、現在は教員も視野に入れつつブライダル業界より内定を

いただき、沖縄県
しております。

での勤務も予定

今後どのような道に進んだとしても、これまで
私を支えてくださった沖縄という地域に貢献
できるよう、人と人とのつながりを大切にしながら
社会の一員として成長し続けていきたいと考えて
おります。

改めて、これまでのご支援に心より感謝
申し上げます。今後もいただいたご支援を糧に
精進してまいります。

令和8年4月24日

名桜大学人間健康学部スポーツ健康学科